



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 省電舎
コード番号 1711 URL <http://www.shodensya.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴澤 利雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 福本 裕士

TEL 03-6821-0004

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	1,286	△6.3	△50	—	△45	—	△54	—
28年3月期第3四半期	1,373	△32.5	△74	—	△80	—	△87	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △48百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △87百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	△28.05	—
28年3月期第3四半期	△47.37	—

(注) 1. 28年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失のため記載していません。

2. 29年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり純損失のため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	1,973	844	34.3
28年3月期	921	291	31.6

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 676百万円 28年3月期 291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,700	22.7	102	104.0	96	174.3	60	140.0	21.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 株式会社エール、除外 1社 (社名)

平成28年10月27日付で当社を株式交換完全親会社、株式会社エールを株式交換完全子会社とする株式交換を行いました。さらに、株式会社エールの子会社である株式会社エールケンフォーを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	2,502,173 株	28年3月期	1,842,273 株
② 期末自己株式数	1 株	28年3月期	1 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	1,957,375 株	28年3月期3Q	1,842,273 株

当第3四半期連結累計期間において、株式交換により株式会社エールを完全子会社化したことによる新株発行359,900株、第6回新株予約権の行使により300,000株が増加したことにより、当第3四半期連結会計期間末において発行済株式数が2,502,173株となっております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による各種経済政策や金融緩和を背景に企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調で推移しましたが、中国をはじめとする新興国の景気減速や英国のEU離脱、米国大統領選挙の影響もあり、先行きについては依然不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは再生可能エネルギー関連事業を主たる事業として積極的に事業を推進しております。また、平成28年10月に発表いたしました株式交換による株式会社エールの子会社化により、省エネルギー事業を含めた総合エネルギー事業者として事業を拡大推進して参ります。当第3四半期連結累計期間における損益の状況については、前年同期に比べ売上は減少し、営業損失計上ではありますが、売上総利益率は改善しており、営業損益についても改善している状況であります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高1,286百万円(前年同期比86百万円減、6.3%減)、営業損失50百万円(前年同期 営業損失74百万円)、経常損失45百万円(前年同期 経常損失80百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失54百万円(前年同期 四半期純損失87百万円)となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

(省エネルギー関連事業)

省エネルギー関連事業におきましては、現状は、大幅に人員を絞り込んで事業推進し、継続顧客から受託した省エネ改修工事を中心に売上構築しましたが、前年同期に比べ大型案件が無かったため、売上高185百万円(前年同期比180百万円減、49.4%減)、セグメント損失は11百万円(前年同期 セグメント損失34百万円)となりました。

(再生可能エネルギー事業)

再生可能エネルギー事業におきましては、連結子会社化した株式会社エールケンフォーを含め太陽光発電設備の設置工事受託等が計画通りに進捗し、売上高は前年同期比増加したものの、利益計上には至りませんでした。結果、売上高1,101百万円(前年同期比94百万円増、9.3%増)、セグメント損失は42百万円(前年同期 セグメント損失47百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末より1,051百万円増加し、1,973百万円となりました。これは主に株式会社エールケンフォーの連結子会社化による影響もあり、未成事業支出金の増加328百万円、有形固定資産の増加458百万円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末より499百万円増加し、1,128百万円となりました。これは主に株式会社エールケンフォーの連結子会社化による、短期借入金の増加189百万円及び長期借入金の増加274百万円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末より552百万円増加し、844百万円となりました。これは主に株式会社エールケンフォーの連結子会社化による影響もあり、その他資本剰余金が365百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、営業損失計上の状況でございますが、概ね計画通りに推移しており、「平成29年3月期第2四半期業績予想と実績の差異等(連結)及び平成29年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」(平成28年11月14日)において発表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成28年10月27日付で当社を株式交換完全親会社、株式会社エールを株式交換完全子会社とする株式交換を行いました。

さらに株式会社エールの子会社である株式会社エールケンフォーを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	248,033	365,383
受取手形及び売掛金	327,245	181,309
原材料	17,391	45,493
未成事業支出金	73,306	401,327
その他	138,110	219,252
貸倒引当金	△5,763	△10,491
流動資産合計	798,325	1,202,275
固定資産		
有形固定資産	3,714	462,037
無形固定資産		
のれん	—	119,553
その他	80	80
無形固定資産合計	80	119,633
投資その他の資産		
投資有価証券	90,090	125,972
破産更生債権等	173,465	173,465
その他	28,866	73,124
貸倒引当金	△173,465	△183,465
投資その他の資産合計	118,957	189,097
固定資産合計	122,751	770,768
資産合計	921,077	1,973,043
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,030	62,520
短期借入金	165,000	354,070
未払金	254,913	107,358
前受金	84,227	192,948
未払法人税等	24,595	5,992
メンテナンス費用引当金	305	155
その他	95,354	25,343
流動負債合計	629,426	748,388
固定負債		
長期借入金	—	274,670
繰延税金負債	378	68,402
その他	—	37,423
固定負債合計	378	380,495
負債合計	629,805	1,128,883

(株)省電舎 平成29年3月期第3四半期決算短信[日本基準](連結)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	873,099	947,709
資本剰余金	680,279	1,045,688
利益剰余金	△1,262,964	△1,317,871
自己株式	△1	△1
株主資本合計	290,412	675,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	858	1,470
その他の包括利益累計額合計	858	1,470
新株予約権	—	420
非支配株主持分	—	166,743
純資産合計	291,271	844,159
負債純資産合計	921,077	1,973,043

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	1,373,499	1,286,989
売上原価	1,124,209	985,322
売上総利益	249,290	301,667
販売費及び一般管理費	324,245	352,373
営業損失(△)	△74,955	△50,706
営業外収益		
受取利息	313	100
受取配当金	7	12
契約解除収入	—	7,014
その他	383	2,563
営業外収益合計	704	9,691
営業外費用		
支払利息	2,069	3,602
その他	4,191	489
営業外費用合計	6,261	4,092
経常損失(△)	△80,512	△45,108
特別利益		
新株予約権戻入益	787	—
特別利益合計	787	—
特別損失		
固定資産売却損	470	—
特別損失合計	470	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△80,196	△45,108
法人税、住民税及び事業税	7,071	5,394
法人税等調整額	—	△1,690
法人税等合計	7,071	3,703
四半期純損失(△)	△87,267	△48,811
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	6,095
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△87,267	△54,907

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純損失(△)	△87,267	△48,811
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87	612
その他の包括利益合計	△87	612
四半期包括利益	△87,355	△48,199
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△87,355	△54,295
非支配株主に係る四半期包括利益	—	6,095

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成28年10月6日決議により、第6回新株予約権を発行(600,000株)し、当第3四半期連結累計期間において300,000株が行使されたことにより、資本金及び資本準備金がそれぞれ74,610千円増加しております。

(セグメント情報等)

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	省エネルギー関 連事業	再生可能エネル ギー事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	185,179	1,101,810	1,286,989		1,286,989
セグメント間の 内部売上高又は振替高		58	58	58	
計	185,179	1,101,868	1,287,047	58	1,286,989
セグメント損失()	11,429	42,118	53,547	2,840	50,706

(注)1. セグメント損失()の調整額はセグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント損失()は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。